

建設の機械化

1999.9

No.595



■建設工事における最近のプラント設備特集

- ◆巻頭言 素直に……………今 岡 亮 司 1
- 骨材生産プラントの新技术……………小 田 悦 弘 3
- コンクリート製造プラント……………矢 田 正 美・平 櫛 一 政 9
- アスファルトプラント……………岡 本 紀海夫・吉 野 健 治・西 尾 勝 彦 16
- 濁水・泥水処理プラント……………炭 田 光 輝 23
- 管中混合固化処理プラント
……………堀 井 良 介・新 舎 博・藤 尾 良 也 30
- カーブベルトコンベヤによる長距離輸送
—カーブコンベヤの運転実例—……………巽 成 一 38
- ◆ずいそう 中年とパソコン……………三 浦 英 夫 36
- CONET '99 見聞記
—平年11年度建設機械と新工法展示会—……………小 室 日出男 43

グラビヤ CONET '99 見聞記

- ◆トピックス 環境対策型建設機械の融資制度について
—中小企業金融公庫および国民金融公庫の特別貸付制度の創設—…………… 47
- ◆支部便り 日本建設機械化協会支部総会・建設機械優良技術員の表彰…………… 50
- ◆部会報告 恩廻公園調節池建設工事見学会報告……………機 械 部 会 65
- ISO/TC 214 (昇降式作業台) WG1 ロンドン国際会議報告……………I S O 部 会 67



◆新工法	04-183 メタン検知装置および工法（銭高組）/04-184 山岳トンネル用 余掘り管理システム（清水建設）/04-185 掘削断面拡幅不要の山岳トンネル長尺 鋼管先受け工法（飛鳥建設）/04-186 トンネルマルチメディア情報化施工システ ム（大成建設）/10-33 ダムコンクリート製造設備温度情報分析システム（熊谷組）	調査部会	70
◆新機種紹介	調査部会	75
◆文献調査	マテリアルハンドリング/大規模工事で採用された伸縮式（テレスコピック） ベルトコンベヤを搭載した車両.....	文献調査委員会	81
◆統計	建設機械市場の動向/ 建設工事受注額・建設機械受注額の推移.....	調査部会	83
行事一覧		87
編集後記（吉村・梶岡・加藤）		90

◇表紙写真説明◇

小型JST工法機
アースキップ TSR-15型
三和機材株式会社

JST工法は、アースオーガ等の掘削軸に2つの流体通路を設け、A液・B液を低圧で供給。土砂と混合攪拌し瞬時に土壌を凝結させる工法で、所定の改良範囲を確実に施工するため、地下水源の汚濁、土壌汚染を引起すことのない画期的無公害工法である。アースキップは中小規模施工を対象に開発された全油圧式小型地盤改良機である。

本機の特徴

- ① 全装備質量13.5tのコンパクトなボディに、クラス最大110馬力（80.9kW）エンジンを搭載。掘削径φ1,000、掘削長11mが可能。
- ② 2重旋回機構を採用。本体を旋回させず、前部旋回で最小φ=2.5mの狭隘地での施工が可能。

- ③ 施工管理装置を搭載し、掘削深度・速度、回転数、圧力、グラウト注入量などの所量が計測、保存可能。
- ④ リモコン遠隔操作方式を採用し、操作および施工管理をワンマンコントロール。
- ⑤ JST工法の他、アタッチメント交換にて一般的な地盤改良工事、杭施工などの汎用性を有する。

TSR-15の主な仕様

寸法(H×W×L)	8,600×2,300×5,350 (mm)
掘削トルク	24.5kN・m(特殊仕様 39.2kN・m)
回転数	10~50 rpm
チャック方式	任意自動チャック機構
昇降速度	0~5.0 m/min
一作動掘削長	4.5 m
圧入・引抜き力	約68.6 kN
エンジン	80.9 kW/1,500 rpm
質量	13.5 t
接地圧	6.1 kPa